

平成23年度大阪府連携セミナー

人間社会学部

授業公開講座

(前期)



公立大学法人

大阪府立大学

## 【平成23年度人間社会学部 授業公開講座(前期) 講義概要】

### 講座番号：1 「中国文学史」 大平 桂一 教授

中国の詩の歴史を概観し、中国の詩法の基礎を学びます。古代の詩経、魏晉南北朝の五言詩・樂府、唐詩、宋詩、宋詞、元詩、明詩、清詩と時代順に中国の詩の歴史をたどります。そのほか、平仄の法則、詩人の興味深いエピソードなど盛りだくさんな内容を予定しています。できれば中国の発音の基礎をも学び、皆さんと一緒に中国の詩を原音で鑑賞してみたいと思います。

### 講座番号：2 「医療福祉論」 山中 京子 准教授

人は疾患にかかることで身体的な痛みや苦しみを経験し、時に命にまで影響を受けます。また、疾患は人の身体面のみならず、心理面と同時に、その人の生活にも重大な影響を及ぼし、社会的な存在としての人を脅かします。この講義では、疾患によって人が受ける身体、心理、社会的な影響について統合的に理解し、次いで、そのような経験をした人がそれ以前の健康な状態にあったときの生活、関係、感情を踏まえつつも、疾患によって受けた影響の下で、新たな自分自身や自分の生活を再構築する過程におけるその個人と周囲の人との関係を考察することを目指します。全体として、疾患による人への多様な影響を理解し、そのために生じる生活の再構築への周囲からの支援の可能性を考察し、多様な支援者のあり方について検討することを講義目標とします。

### 講座番号：3 「神経生理学」 角田 茂 教授

生命が地球上に誕生し、単細胞生物、多細胞生物、そしてヒトへと進化していく過程で、細胞間における情報伝達を有機的に統合するため、驚異的に発達したのが神経系であります。本講義では、近年飛躍的に進歩した脳科学の知見をもとに、細胞レベルから個体レベルに至るまでの、神経系の働きについて講義します。特にヒトの脳に関しては、その解剖および記憶や睡眠などのメカニズムについて個々に解説します。

※ 後期に神経病理学を開講予定ですが、前期に受講された方のみ申込み可能となります。

### 講座番号：4 「フランス文学の世界1」 村田 京子 教授

今年の講座では、フランス革命を経て19世紀に登場した女性職業作家を取り上げます。スタール夫人やジョルジュ・サンドは著名ですが、他にも様々な階級の女性職業作家が誕生しています。こうした女性たちを発掘し、彼女たちがどのような生き方をして、どのような作品を生み出したのかを探っていきます。まず、男性作家から見た女性作家像をバルザックの『ベアトリクス』に登場する女性作家を通して見ていきます。次に、国王ルイ・フィリップの養育掛ジャンリス夫人、女性ジャーナリストの草分け、デルフィーヌ・ド・ジラルダン、そして労働者階級の解放に身を捧げたフロラ・トリスタン(画家ゴーギャンの祖母)に光を当て、「女がペンを執る時」とはどのような時なのかを明らかにしていきます。

【教科書】村田京子著『女がペンを執る時—19世紀フランス・女性職業作家の誕生』、新評論

### 講座番号：5 「スクールソーシャルワーク論」 山野 則子 教授

児童虐待、不登校、暴力行為、子どもの貧困と課題は山積し、あちこちで取り上げられるようになった。2008年より国がスクールソーシャルワークを事業化し、実践では大阪府が2005年から始め、養成では大阪府立大学が2009年から、全国に先駆けてスクールソーシャルワーク教育課程を始めている(<http://www.human.osakafu-u.ac.jp/ssw/index.html>)。スクールソーシャルワークとは、教育現場に福祉の知識・価値・方法を導入して課題解決を行う、まさしく現代的課題に立ち向かう新しい教育と福祉をつなぐ領域である。教職課程科目に心理は存在するが、社会福祉が存在していない。教師も社会福祉の視点や協働の視点を持って学校に入っていくことによって、問題行動に違った視点でアプローチすること、教師が一人で抱え込むことを組織的にも防ぐことが可能になると考える。子ども、子育てを巡る現代的課題を知り、スクールソーシャルワークについて実践的に学ぶ。広く学校で働く教職員、支援員、スクールカウンセラー、教師を目指す人など特に歓迎したい。

### 講座番号：6 「美術史学」 河野 道房 准教授

美術史学の研究方法を、東アジア美術史を例に紹介し、作品資料と文献資料の取り扱い方法を考えます。今年度は、東アジア美術の中心である中国の、山水画の歴史を考察します。具体的には、漢代から魏晉南北朝時代にかけて成立した山水表現が、唐代から北宋にかけてどのように山水画として確立し、私たちがよく知る山水画のイメージへと変化していくのかを、現存作品や文献から考えます。

### 講座番号：7 「比較社会学A」 秋庭 裕 教授

東北アジアの宗教伝統のなかで、日本宗教の「救い」の論理と構造を考察する。そして、21世紀における、その「可能性」について考察する。日本列島に生きる人びとの宗教的基層文化は、どのような特徴をもつのだろうか。そして、それはどのように変化してきたのだろうか。あるいは普遍的な要素とは何であろうか。21世紀初頭、国民国家のゆらぎ、世界経済の激動、いっこうに収束しない民族・地域紛争、環境問題の深刻化、そして、それらすべてを被うグローバル化の加速度を加えるような進展など、人類はこれまでに経験したことのない規模の大転換期を生きている。そういう時代を生きざるを得ない私たちにとって、縄文から新新(しんしん)宗教まで鳥瞰し、私たちの文化伝統の屋台骨をなす、宗教文化を見直して行く。それは、「21世紀、東アジアの片隅で生きる私たちは、理論的に、いかに幸福に、死ぬことができるのか」を問うことである。

## 【平成23年度 人間社会学部 授業公開講座(前期) 講義概要】

### 講座番号：8 「現代社会思想2A」 酒井 隆史 准教授

テーマは地図を読み替えるです。地図は想像力を喚起してくれます。一方で、私たちは既成の地図とは異なる自分だけ、集団だけの空間や地理のイメージを持っています。いわば自分たちの生きられた空間の経験であり「心的地図」です。たとえば人間はみずからの集団や社会を、お化けや妖怪、あの世、常世、地獄、海賊のような外部のイメージとともにつねに形成してきましたが、地図には明示的にはあらわれません。しかし、そうした想像世界は、現実の都市のあり方や地理の構造をまた規定してきました。私たちの身近である空間には、さまざまにその痕跡があります。ここでは、映画や小説、写真などなどに手がかりを求めながら、空間あるいは都市を考え、自分だけの地図を作成する方法を考えてみたいと思います。

### 講座番号：9 「公的扶助論A」 嵯峨 嘉子 講師

本講義は、社会保障制度の最後のセーフティ・ネットとよばれる生活保護制度について理解を深めることを目的としています。具体的には、以下の内容を予定しています。

・公的扶助の概念 ・公的扶助制度の歴史的展開(日本) ・生活保護制度の基本的な仕組み(目的、基本原理および保護の原則、保護の種類と内容、生活扶助基準額の算定方式、給付の仕組みと手続き、等) ・生活保護制度の諸課題

### 講座番号：10 「日本古代文学A」 村田 右富実 教授

【天平万葉を読む】 729年8月5日、神亀は天平と改元されました。この改元は天平万葉の幕開けでもありました。この授業では、この天平改元後の歌々を読み進めることを通じて、万葉史の一部を構想することを目指します。具体的には、「笠金村の羈旅歌(1787-89)」、「日本琴の贈答歌(810-812)」、「鎮懐石歌(813-814)」、「梅花宴歌(815-852)」、「松浦川に遊ぶ歌(853-863)」などを読み進めることとなります(括弧内は歌番号)。

また、テキストは特に指定しませんが、万葉集は必ず持って来て下さい。

初学者の方には、伊藤博氏訳注『角川ソフィア文庫 新版 万葉集』一～四(角川書店)をお薦めします。

### 講座番号：11 「科学思想の系譜」 斎藤 憲 准教授

アルキメデスを取りあげます。アルキメデスは、古代世界最大の数学者の一人であると同時に卓越した技術者であり、ローマとの戦争ではさまざまな機械でローマ軍をさんざんに苦しめたことが知られています。授業では『方法』という著作を取りあげます。これはアルキメデスが、球の体積などの結果発見するために使った探求法の種明かしをした著作で、機械の製作にも関係したと思われます。この著作の分析を中心に、アルキメデスの生涯と時代背景も探っていきます。高度な数学やギリシャ語の知識は必要ありません。なお、昨年前期の公開講座と基本的部分は同じですが、とりあげる題材を一部変更します。

教科書：林栄治・斎藤憲『天秤の魔術師アルキメデスの数学』(共立出版、2009. 3465円)。

### 講座番号：12 「現代文学思想A」 萩原 俊治 教授

『地下室の手記』、『罪と罰』、『白痴』、『悪霊』、『未成年』、『カラマーゾフの兄弟』と続くドストエフスキー後期の作品群の中で、『悪霊』は、ドストエフスキー終生のテーマである「根無し草とは何か」「知識人とは何か」といったテーマ、すなわち、ひとこと言えば「われわれにとって根とは何か」というテーマがもっとも集中的に扱われた作品です。講義では、根無し草のステパン・ヴェルホーヴェンスキーからその子ピョートル、さらにステパンの教え子であるスタヴローギンに伝えられた「根無し草の思想」を論じながら、私たちにとって根を持つとはどのような事態なのかについて考えてゆきます。授業進行を円滑に進めるため、教科書は必ず下記のものをご購入すること(大学生協で販売します)。

【教科書】ドストエフスキー『悪霊』(江川卓訳、新潮文庫、全二冊) ※平成16年改版以降に発行のものを購入して下さい。

### 講座番号：13 「地域福祉論A」 小野 達也 准教授

地域福祉論Aの教育目標は、地域福祉の必要性や概念を理解させることです。地域福祉は、主流化したと言われているが、その意味合いを考えます。講義の構成は3つに分かれています。まずはじめに、なぜ地域福祉が必要なのかを考察します。そのためには、現在の生活の仕組みを学ぶこととなります。次に、地域福祉を構築していくための枠組み、構成要件を考えます。最後に地域福祉に関する様々な考え方について検討します。地域福祉は、一部の人のためにあるのではなく、地域に住むすべての人に関わるもの、というのが基本的な姿勢です。

## 【 平成23年度 授業公開講座（前期） 】

講座番号	曜日	コマ	講座名	講師	定員	開講日
1	月	2	中国文学史	大平 桂一	10	4月11日
2		2	医療福祉論	山中 京子	10	
3		3	神経生理学	角田 茂	10	
4		4	フランス文学の世界1	村田 京子	15	
5		4	スクールソーシャルワーク論	山野 則子	5	
6		4	美術史学	河野 道房	10	
7	火	4	比較社会学A	秋庭 裕	5	4月12日
8		4	現代社会思想2A	酒井 隆史	15	
9		4	公的扶助論A	嵯峨 嘉子	5	
10	水	3	日本古代文学A	村田 右富実	10	4月13日
11		3	科学思想の系譜	斎藤 憲	30	
12		4	現代文学思想A	萩原 俊治	30	
13	金	3	地域福祉論A	小野 達也	10	4月8日

2コマ：10時40分～12時10分      3コマ：12時55分～14時25分  
4コマ：14時35分～16時05分

各講座の教室は事前説明会の時にお知らせします。

この授業公開講座は、生涯学習の一環として、大学の研究成果を広く地域社会に還元するとともに“アクティブシニアがあふれる大阪”の実現をめざして、本学と大阪府が連携実施するものです。本学の授業科目の一部（13講座）を府民の皆さまに公開し、受講者は学生とともに授業を受けていただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

- ◆ 開講期間… 平成23年4月8日(金)～平成23年8月8日(月) 13講座・各15回(予定)  
※事前説明会・講演：4月5日(火) 10:30～12:00
- ◆ 講座会場… 大阪府立大学 なかもずキャンパス 各教室 / 〒599-8531 堺市中区学園町1番1号  
・南海高野線「白鷺」駅下車 南西へ約500m  
・地下鉄御堂筋線「なかもず」駅下車 5号出口 南東へ1000m  
・JR阪和線「三国ヶ丘」下車 北野田駅行(310号線)バス15分「府立大学前」下車  
※自動車・バイクでの来学はできません。
- ◆ 受講資格… 中高年・シニア層で大阪府内にお住まいの方、通勤・通学されている方を対象とします。学習や生きがいづくり、地域活動への意欲があり、全期間を通じて受講できる方。
- ◆ 申込締切… 平成23年3月11日(金)《必着》
- ◆ 申込方法… ①ご希望の講座名 ②氏名(ふりがな)・年齢 ③郵便番号・住所 ④電話番号をご記入の上、「ハガキ」または「Eメール」で下記宛先までお申し込みください(※携帯メール不可)。  
※申込者多数の場合は抽選で受講者を決定します。結果については、全員に通知します。
- ◆ 申 込 先… 〒599-8531 堺市中区学園町1番1号  
大阪府立大学 エクステンション・センター「大阪府連携セミナー」係  
E-mail: sinia1@ao.osakafu-u.ac.jp TEL: 072-254-9942
- ◆ 受 講 料… 1講座 3,000円  
※受講料のお支払いは、開講前の事前説明会時にお支払いいただきます。  
尚、一旦お支払いいただいた受講料は、返金いたしかねますのでご了承ください。
- ◆ 修 了 証… 10回以上受講された方へ修了証を交付(希望者のみ)。
- ◆ 個人情報… お申込の際の個人情報は、本学公開講座等に関する事務連絡以外の使用は一切いたしません。  
の取扱い

(大阪府アクティブシニアがあふれる大阪事業)